

NEWS RELEASE

ナイス株式会社

2015年6月30日

住宅の耐震化をキーワードに最新の家づくりを紹介～専門家による住まいの復興相談会も～
「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」を開催！

7月11日(土)、12日(日)夢メッセみやぎで開催！！

入場無料

■ニュースポイント■

7月11日(土)、12日(日)の2日間、工務店や金融機関、地方自治体など、住宅づくりに関連する企業や団体が一堂に会し、住宅の耐震化を柱に最新の家づくりの紹介や被災された方々の住宅再建相談にお応えする「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」を、夢メッセみやぎで開催いたします。

気象庁では、東日本大震災から4年が経過した今もなお活発な地震活動の継続が想定されるとしており、最大震度5弱以上の強い揺れの余震も発生との可能性があると地震への備えを喚起しています。宮城県では現在も6万人を超える方々が応急仮設住宅での生活を余儀なくされており、防災集団移転促進事業においては195地区のすべてにおいて造成工事が着手されているものの住宅の建築工事が可能な地区数は97と、住まいの復興には一層の加速が求められています。

「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」では、住宅の耐震構造の仕組みや地震に強い住まいづくりの情報を発信するほか、行政担当者や専門家らが住宅再建に向けたあらゆるご相談に応じるなど、安全・安心な住まいの復興に向けたお役立ちに努めます。

①耐震ゾーン（住宅の耐震化の方法を分かりやすく学ぶ場）

耐震ゾーンでは、1981年以前の「旧耐震基準」で建てられた住宅、1981～2000年の「新耐震基準」で建てられた住宅、2000年以降の「現行の新耐震基準」で建てられた住宅のそれぞれにおける地震時の揺れの違いについて、来場者が自分で動かせる耐震模型を用いながら耐震診断や耐震改修の重要性を解説します。そのほか、様々なエリアの地盤内容が分かる「地盤診断コーナー」や、いざというときに役立つ防災グッズの紹介も行います。

「親子で学ぶ防災体験ゾーン」では、NPO法人プラス・アーツの協力のもと子どもも楽しみながら学べる防災体験プログラムを行います。ジャッキを用いてけが人ががれきの下から救出する方法を学ぶ「ジャッキアップゲーム」や応急手当の方法、紙を用いて食器をつくる方法など、いざというときに子供から大人まで役立つプログラムをご用意しています。



耐震のメカニズムが分かる動く耐震模型

家を建てた年代によって地震対策が違います！
それぞれの自宅に合った解決策を住宅の状況に応じて良的にご提案いたします。次のA～Cから当てはまるタイプを選び、必要な情報を取得しましょう！



②住まいづくりの総合相談コーナー（専門家や行政担当者が対応）

金融機関6行（七十七銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行、杜の都信用金庫、りそな銀行。50音順）や住宅金融支援機構、弁護士、税理士の専用窓口を設置し、災害復興住宅融資や住宅ローン、法律、税金など、東北地方にお住まいの方々の様々なお悩みに無料でお応えします。

また、行政による個別ブースも設置され、宮城県土木部による耐震診断や耐震改修、住宅に関する補助金相談や宮城県住宅供給公社による分譲地情報の提供なども行います。



③木材ゾーン（地域の木材を利用した家づくりを促進）

「木材エリア」では、木材に関する展示や木造住宅の躯体に関する展示を行います。東北地方6県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）が出展し、良質な地域材や積極的な木材利用の取り組み、地域材を活用した魅力的な住宅などの紹介を行います。

国土交通省による今年の注目施策「地域型住宅グリーン化事業」へ対応したゼロエネルギー住宅の仕様を紹介し、省エネ性能の確保に必要な断熱材やサッシ、太陽光発電などの各種設備機器を併せて展示します。

2010年施行の「公共建築物等木材利用促進法」を契機に機運が高まっている大規模建築物においては、スギの一般流通材を用いて新たに開発した最大12メートルスパンを可能とした9メートルの梁を用い、無柱の大空間を実現した店舗型の構造躯体を展示します。

また、NPO法人チルドリンが幼児の心身の発育に良いとされる「木育」を体験することができるコーナーを設置し、幅広い世代に向けて木の魅力をお伝えします。



地域材の魅力を発信



店舗型の構造躯体を展示



「木育」コーナー

④最新の省エネな家づくりや各種性能向上リフォームをご紹介します

建物の高い断熱性や設備機器の省エネ性により排出する二酸化炭素の排出を抑制する「低炭素住宅」や、年間での一次エネルギー消費量が正味でゼロまたはおおむねゼロとなる「ゼロエネルギー住宅」についてもそれぞれコーナーを設けます。断熱材やサッシ、各種節水機器や高効率給湯器など、認定低炭素住宅をつくるために必要な設備機器や、太陽光パネルや蓄電池、HEMSといったゼロエネルギー住宅をつくるために必要な省エネ、創エネ、蓄エネ機器を紹介します。



リフォームコーナーでは、断熱リフォームやバリアフリーリフォームのポイントや効果についても紹介します。また、「うちエコ診断士」による無料診断を実施し、自宅の光熱費や設備機器の仕様から排出されるCO₂量を算出し、住まい方や設備機器の交換、リフォームによる光熱費の削減方法に関するアドバイスを受けることができます。

今年の注目施策「省エネ住宅ポイント制度」では、一定の省エネ性能を有する住宅の新築やエコリフォームを行うことで様々な商品などと交換できるポイントを受け取ることができます。会場では、同制度を活用するために必要な住宅の条件や申請の流れなどを解説し、併せてオリジナルのガイドブックの配布も行います。

◆セミナー情報◆

	時間	タイトル	講師
7月	13:00~14:30	都市木造の実施、そして第2ステージへ	NPO法人 team Timberize 理事/㈱KUS 代表取締役 内海 彩氏 ※先着順定員制
11日	13:30~14:30	収納王子コジマジックの 笑って学べる収納セミナー	整理収納アドバイザー/住空間収納プランナー 小島 弘章氏
(土)	15:30~16:00	光熱費・ガソリン費節約のすすめ! ~うちエコ診断でエコなくらし~	全国うちエコ診断実施機関 NPO法人 住まいの構造改革推進協会
12日	11:00~11:30	ずっと固定金利の安心【フラット35】	住宅金融支援機構 東北支店
(日)	12:30~13:10	弁護士法人匠総合法律事務所による 最新の建築判例の解説	弁護士法人 匠総合法律事務所 弁護士 井上 雅之氏

◆開催概要◆

日時：2015年7月11日(土) 10:00~17:00
7月12日(日) 10:00~16:00
場所：夢メッセみやぎ(全館) 入場：無料
主催：ナイス株式会社
協賛：木材・建材・住宅設備機器有力メーカー

住まいの耐震博覧会とは

2002年からスタートし、仙台をはじめ、東京、名古屋、大阪、福岡など全国の主要都市で開催しています。仙台では2003年から開催し累計来場者数は11万人を超え、今回が11回目の開催となります。全国での累計来場者数は150万人を突破し、住宅の地震対策に関する総合展示会として国内最大級の規模となっています。

後援：ナイスパートナー会連合会、ナイスわくわくクラブ、素適木材倶楽部、(一財)強靱な理想の住宅を創る会、(一社)木と住まい研究協会、NPO法人 住まいの構造改革推進協会、宮城県、みやぎ復興住宅整備推進会議、(一社)宮城県建築士事務所協会、宮城県地域型復興住宅推進協会、(一財)宮城県建築住宅センター、宮城県木材協同組合、宮城県森林組合連合会、(一社)岩手県建築士事務所協会、岩手県地域型復興住宅推進協議会、(一社)福島県建築士事務所協会、福島県地域型復興住宅推進協議会、住宅金融支援機構東北支店

ホームページ：<http://www.nicefair.com/>

◆開催に関するお問い合わせ

住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア事務局 TEL：(022)261-8808 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー19階

◆本プレスリリースに関するお問い合わせ

ナイス株式会社広報室 宮川・有井 TEL：(045)501-5048 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル8階